

# 事業所緣化



川崎市みどりの事業所推進協議会



第一高周波工業株式会社 京浜製造所・水江 令和3年度川崎市環境功労者表彰受賞事業所

## 市民150万本植樹運動



橋公園植樹祭 今和3年10月31日(日)開催



川崎市では、緑豊かなまちづくりを実現するため、市制100周年にあたる令和6年度までに 150万本の植樹を目指す「市民150万本植樹運動」を推進しており、取組の一環として植樹祭 を開催しております。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、この事業に協賛しており、各事業所敷地内への 植樹や、植樹祭への支援、社員の参加などの協力をしています。

令和3年度は、高津区の橘公園で植樹祭が開催されました。式典には、川崎市みどりの事業所推進協議会を代表して会長事業所が出席しました。

当日は、約160名の市民・関係者が参加し、ジンダイアケボノ、ヤマブキ、タマアジサイ等 の苗木の植樹が行われました。









# 目 次

会長あいさつ	三菱ふそうトラック・バス株式会社 生産本部 生産・計画統括部長	馬場	高史	1
市長あいさつ	川崎市長	福田	紀彦	2
事業所の取組				
第一高周波工業	株式会社 京浜製造所・水江			3
旭化成株式会社	製造統括本部 川崎製造所			4
川崎市みどりの	事業所推進協議会の活動(令和3年度)			5
幹事会・50周年記念事業実行委員会の記録(令和3年度)				7
川崎市からのお	知らせ			8





みどり豊かなうるおいとやすらぎのあるまちづくりに貢献

川崎市みどりの事業所推進協議会

### 会長馬場高史

(三菱ふそうトラック・バス株式会社 生産・計画統括部長)

平素より、「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動に御理解、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨今、都市のなかの「緑」は大きな役割を果たすと考えられています。ヒートアイランド現象に対して、「緑」は日光を遮断し暑さを大幅に和らげてくれます、更に葉から大気中に水蒸気を放出する過程で気化熱を奪うことにより周囲の気温を下げてくれます。

また、心理的な効果として「緑」はやすらぎを与えるといわれています。特に都市部では自然空間が減少し、無機質なコンクリートに囲まれているので、人々が休日に公園等の緑の多い場所において清々しさを感じるのは無意識のうちに「緑」を求めているのかもしれません。「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動も、緑化を通じた安らぎのあるまちづくりに大きな役割を果たすことができると考えています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、昭和47年に「川崎市工場緑化推進協議会」として設置され、平成17年には、より広範囲の事業所への協働参加を目指し「川崎市みどりの事業所推進協議会」と名称を改めて現在に至っています。川崎市と事業所の官民が一体になり、協働で緑化活動と緑化意識の向上に取り組んでいます。緑化協定締結事業所の緑化率は、発足当時3.6パーセントでしたが、現在では10パーセントを超え、緑化地の面積は約147~クタールを確保しています。

地域の緑化は、SDG s 達成の為にも、大きな役割を担っています。官民が協力し緑化を進める事は、地域に住む方々の暮らしを豊かにするだけではなく、地球規模での豊かさを実現し、後世に引き継ぐ、大変重要な意義を持っています。当協議会は令和4年度に50周年を迎えますが、このような官民一体の事業が50年にわたり続いているとことは各会員事業所様の努力の賜物と思っております。今後も当協議会を基に緑化活動を実施するとともに、活性化を図っていきたいと考えております。

私達のうれしいニュースとして、川崎市が市制100周年の節目を迎える令和6年度に誘致を進めていた全国都市緑化フェアの開催が正式に決定しました。当協議会としても可能な限り協力していく所存でございますのでみなさまのご協力を、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、「最幸のまち かわさき」を目指し、更に「緑」豊かな地域づくりの 推進に、皆様とともに取り組んでまいりたいと思いますので、引き続き、関係各位のご指導、 ご支援をよろしくお願い申し上げます。



## 「最幸のまち かわさき」をめざして

## 川崎市長 福 田 紀 彦

「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、平素より市政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本年、貴協議会が設立50周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げるとともに、長年にわたり、みどり豊かなまちづくりに対する御尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大により、一年の大半が「緊急 事態宣言」と「まん延防止等重点措置」下に置かれる中、市民に最も身近な基礎自治 体の役割と責務を果たすため、強い決意と覚悟で臨んだ一年でございました。

事業者の皆様におかれましては、現在に至るまで、感染拡大の防止と社会活動の維持につきまして、多大な御協力をいただいており、ここに改めて感謝を申し上げます。

さて、本市におきましては、市民生活を豊かにする環境づくりとして、地球温暖化がますます深刻化する中で、市民や事業者の皆様と協働しながら、環境先進都市として本市がこれまでに培った技術を活かし、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なまちづくりを進めており、様々な主体と力を合わせて、市民の皆様の貴重な財産である緑や水などの自然環境を守り、次世代へ継承する取組を行っております。

また、緑と水の豊かな環境をつくりだす取組として、「市民150万本植樹運動」を 推進するとともに、市制100周年の節目となる令和6年度に開催する「全国都市緑 化かわさきフェア」を契機として、地域愛を持った市民が次の100年に向けて、川 崎らしくより豊かな環境をつないでいくために、みどりが持つ多様なポテンシャルを 活かし、市民、企業、関係団体等の多様な主体との協働・共創による、誰もが暮らしや すく住み続けたいまちの実現に向けた取組を進めてまいります。

市民の皆様の貴重な財産である緑や水などの自然環境を守り、次の100年に豊かな環境をつないでいくため、今後も引き続き、皆様の事業所の緑化を推進していただくとともに、本市の緑化行政に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 事業所の取組 第一高周波工業株式会社 京浜製造所・水江

#### ◎事業所紹介

• 所在地 :神奈川県川崎市川崎区水江町 1-45

• 開設 : 2010 年(H22 年) 5 月

• 敷地面積: 19,055 ㎡

緑化面積:4.815 ㎡(※)

•緑化率 : 25.2%(※)

※川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づく

(2021年9月現在)

• 事業内容

表面処理事業:耐摩耗ロール・ローラーの一貫製作 / 研磨加工 / 再生加工

機器事業:誘導加熱装置 / 高周波電源 / 開発・試験研究 / スリムライザー

プラントメンテナンス:ボルトヒーター / 抜管 / 剥離

鉄筋事業:機械式端部定着鉄筋: T ヘッド工法鉄筋

バイメット事業:複合金属製品:ボイラーチューブ&パネル / バイメタル鋼管

技術部:新技術、製品開発、設計開発、生産技術

◎緑化の取り組み

・従業員による工場周辺の清掃及び緑地帯の保全活動を実施。(1回/月)

・ 園芸業者による緑地帯の保全作業の実施。 (2回/年)

◎環境への取り組み

・工場、事務所棟の建設にあたり、建物に断熱効果の高い素材を使用し、省エネ実現のため高効率な照 明器具を採用。

・事業を通して大きな問題となっている環境問題に優れた製品開発・省エネルギー活動等、地球環境に 配慮した事業活動を展開し、蓄積した技術を活用し「環境と共生」を目指している。









## 旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所

#### ◎事業所紹介

旭化成株式会社の中核である製造統括本部川崎製造所は、1957年(昭和32年)に誕 生し、1964年(昭和39年)には合成ゴムの製造を開始して、旭化成グループとして 初めて石油化学事業に進出しました。

現在では、石油化学、合成樹脂など塩浜、浮島地区に5つ製造部と2つの研究部場を有 し、密な相互連携を強みとして、新たな挑戦に取り組んでいます。

1972 年から 20 年にわたり川崎製造所に勤務し、リチウムイオン電池などを発明した 旭化成名誉フェロー吉野彰氏が2019年にノーベル化学賞を受賞しました。

#### ●所在地・敷地面積

塩浜地区 川崎市川崎区夜光1-3-1

敷地面積:253㎡



敷地面積:30㎡

#### 冬季限定で緑地をイルミネーション化



#### ◎緑化の取組

2019 年度から、生物多様性保全活動の一環として、「まちもり」アクションを開始し ました。この活動は、「まちもり」ポット\*1をツールとして、旭化成グループ全体の事 業所緑地を対象に、いきものたちの視点で価値の向上を図るとともに、旭化成グループ 従業員の生物多様性保全に対する理解と認識を高める取り組みです。川崎製造所におい ても、塩浜地区2ヵ所、浮島地区に1ヵ所の「まちもり」ポットを設置し、活動に取り 組んでいます。※1「まちもり」ポット:旭化成ホームズ(株)が開発した新しい外構アイ テムで、高木・中木・低木・地被植物の高さ違う4層の植物を組み合わせたものです。





## 川崎市みどりの事業所推進協議会の活動(令和3年度)

#### 第49回定期総会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面による開催となり、各議 案について、全会一致をもって可決されました。

講演会及び懇親会については、残念ながら中止となりました。

#### 6月29日(火)

#### 川崎市環境功労者表彰式

表彰事業所 第一高周波工業株式会社 京浜製造所・水江

部 門 緑の保全及び緑化の推進

所 川崎市役所 第4庁舎2階ホール 場

#### ◎事業所紹介

環境や景観などの向上を踏まえた緑化に努め、事業所 緑地の25%を上回る緑地面積を保持し、地域の緑化普 及に貢献されています。

また緑化への取り組みについて、運河の風等を考慮した 樹木の選定を行い、道路に面した高木と低木を組合せた 緑地を設けることで、公共のみどりに寄与した活動を行 っています。

現在も社員の緑化意識の高揚と、環境や景観などの向 上を踏まえた緑化に努められています。



### 10月(都市緑化月間)

#### 緑化啓発グッズ配付

配付植物 「サクラ(苗木)」又は「サンスベリア」※選択制

#### 【サンスベリア (観葉植物)】

原産地 アフリカ

特 徴 キジカクシ科(リュウゼツラン科)に分類されている多肉植物で乾燥、耐陰性 があるので、日陰でもよく育ちます。





#### 1月21日(金)



#### 施設見学会・講習会

例年、緑化に対する意識の高揚や緑化推進への動機付けを図ることを目的とした施設見学会と、花や緑に親しむことを目的とした講習会を開催していますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの実施が困難であることから、久末イノ木特別緑地保全地区内で施設見学会及び講習会を実施しました。

訪問場所 久末イノ木特別緑地保全地区内

参加者 5事業所 7名

#### 説明の様子









道具の手入れの様子

集合写盲

お土産用写真(ヒサカキ)







公財)川崎市公園緑地協会の方が作業指導をしていただき、緑地内の竹の 伐採等を実施しました。少人数での実施となりましたが、参加された事業 所の方からは、「筍取りも体験したい、他の里山でも活動してみたい」と の声が寄せられました。

#### 広報活動

機 関 紙 「事業所緑化≪令和3年度活動記録≫」

発行年月 令和4年3月

発行部数 150部

配 布 先 会員事業所ほか



#### 幹事会の記録(令和3年度)

#### 第1回幹事会

令和3年6月11日(金) ミューザ川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 令和3年度事業計画に基づく年間スケジュールについて
- 2 50周年記念事業について
- 3 (公財)かながわトラストみどり財団緑の募金への協力について

#### 第2回幹事会

令和3年9月6日(月) ミューザ川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 令和3年度施設見学会・講習会・講演会の開催について
- 2 50周年記念事業について
- 3 都市緑化月間(10月)における緑化啓発グッズの配付について
- 4 市民150万本植樹運動植樹祭への協力について

#### 第3回幹事会

令和 4 年 2 月 3 日 (木) ミューザ川崎シンフォニーホール会議室 3

- 1 50周年記念事業実行委員会の報告について
- 2 第50回定期総会の開催について
- 3 令和4年度事業計画(案)について
- 4 令和3年度機関紙「事業所緑化」の作成について
- 5 令和3年度施設見学会・講習会実施報告について
- 6 日本電信電話株式会社横須賀研究開発センタの現地視察報告について
- 7 令和3年度予算執行状況の確認について

#### 第4回幹事会

令和 4 年 3 月 1 7 日 (木) ミューザ川崎シンフォニーホール会議室 1

- 1 50周年記念事業について
- 2 第50回定期総会の開催について
- 3 第50回定期総会に付する議案書(案)について
- 4 令和3年度機関紙「事業所緑化」の作成について

#### 50周年記念事業実行委員会の記録(令和3年度)

#### 第1回実行委員会

令和3年7月16日(金) 川崎駅前タワー・リバーク 17階 建設緑政局局会議室

- 1 ①記念式典・祝賀会・講演会
- 2 ②記念事業
- 3 ③記念誌・記念品

#### 第2回実行委員会

令和3年10月8日(金) ミューザ川崎シンフォニーホール 会議室1

50周年記念事業について

#### 第3回実行委員会

令和3年12月21日(火)

川崎駅前タワー・リバーク 17階 建設緑政局局会議室

- 1 作業部会の報告(「記念事業・記念式典」、「講演会・祝賀会」、「記念誌・記念品」 の各作業部会の報告について)
- 2 1の報告を踏まえた事務局案
- 3 今後のスケジュール



## 川崎市からのお知らせ

## 

#### 令和6 (2024) 年度 全国都市緑化かわさきフェアの開催!

●全国都市緑化かわさきフェアについて

本市は、令和6(2024)年に市制100周年を迎えます。この節目の年に開催する全国都市緑化かわさきフェアを契機に、これまでのみどりの歴史や強み等を振り返りながら、みどりについて市民、企業等の皆様と一緒に考え行動することで、新たなみどりの文化を醸成し、誰もが住み続けたいまちへとつなげていきます。

●かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組について

本市のみどりを取り巻く社会状況の変化や市民ニーズの多様化に柔軟に対応しながら、次の 100 年に向けて、市民、企業等の皆様との協働・共創により、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、誰もが心豊かで、住み続けたいと思い続けられるまちを目指して、フェア開催以降につながる様々な取組を、フェア開催前から展開していきます。

- ▶ みどりが持つ力を、未来の川崎に向けて、みんなが暮らしの中で上手に活用する取組の推進
- ▶ 川崎の多様な人・暮らし・みどりを結びつけ、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」の推進
- ▶ 次の 100 年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいく取組の推進

### <u>私たちと一緒に、本市の多様なみどりをツールとして、</u> <u>都市の価値、企業の価値向上につながる</u> 様々な取組にチャレンジしてみませんか?



#### <参考>全国都市緑化フェアとは

都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58(1983)年度から全国各地で開催されています。

(全国都市緑化かわさきフェアについて)

https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-8-20-0-0-0-0-0.html

## 企業等と連携した新たな緑地保全施策「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、 緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。

あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されております。

現在、下表のとおり保全管理活動に関する協定等を締結し、年2~3回、竹伐採やササ刈りなどの保全管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。今後も実施箇所を増やしていきたいと考えておりますので、御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします!!

保全管理活動地区	締結先企業等
栗木山王山特別緑地保全地区(麻生区栗木:2.0ha)	富士通株式会社川崎工場
久末東特別緑地保全地区(高津区久末:0.8ha)	NECプラットフォームズ株式会社ほか
王禅寺東特別緑地保全地区(麻生区王禅寺東:0.9ha)	川崎信用金庫
岡上丸山特別緑地保全地区(麻生区岡上:1.3ha)	岡上小学校及び和光大学
久末イノ木特別緑地保全地区(高津区久末:0.9ha)	日本ロレアル株式会社



保全管理活動の様子

#### 公共のみどり助成制度

不特定多数の人々の目に触れ、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定し、その維持管理・樹木の保存等に要する経費の一部を助成する事業です。

助成額は、基本助成額 (緑化面積に応じて 2万円~5万円) +30円/mです。制度の詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。



## 令和2年度事業所緑化データ

協定締結事業所 62事業所 緑化率 10.8% (昭和47年発足時3.6%) 緑化面積 147.2ha



緑化率10%以上達成事業所

10%台 20事業所

20%台 11事業所

30%台 4事業所

#### 編集後記



橘公園での植樹祭



植樹祭にて参加者に配布した花苗等

令和3年度も引き続き「市民150万本植樹運動植樹祭」 をはじめとする、市の緑化事業に御協力いただきありがとう ございました。

植樹祭につきましては、新型コロナウイルス感染症の対策 を講じながらの開催となりましたが、参加者へのお土産用と して、本年度もみどりの事業所推進協議会からの御寄附によ り花・苗木等の配布をさせていただき、多くの方々の笑顔を 見ることができました。御協力いただきました事業所の皆様 に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

来年度の協議会の活動につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、実施内容の検討・充実に努めてまいりますので、運営に御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

発行日 令和4年3月

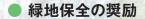
発 行 川崎市みどりの事業所推進協議会

(川崎市建設緑政局緑政部みどりの協働推進課内)

電 話 044-200-2380

# 川崎市線化基金

## 川崎市内の「緑」を守り・育て・増やすために 基金への御協力をお願いします!



保全緑地の管理計画づくり



市民緑化運動の推進 (市民植樹運動や、思い出記念樹配布)



基金として活用し、 民有地を含む都市緑化に 役立てられています。



- 緑の活動団体助成
- 生垣づくり助成
- 駐車場緑化助成



- 屋上・壁面緑化の助成
- 緑のカーテン

## 基金への寄附と 税の控除について

## 法人の場合

確定申告によって、寄附された金額を 法人税法(第37条)の規定により、 捐金参入することができます。

## お問合せ

川崎市 建設緑政局 みどりの協働推進課

※令和4年4月1日より みどり・多摩川協働推進課に変更になります。

電話(044)200-2380 FAX(044)200-3973

(公財)川崎市公園緑地協会 (各種助成などの手続)

電話(044)711-6631 FAX(044)722-8410



